

衛 研 第 3 - 2 号
平成28年 4月13日

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0493-59-9325
F A X 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成28年第14週（平成28年4月4日～平成28年4月10日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症2人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、急性脳炎1人、侵襲性肺炎球菌感染症2人、梅毒5人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**流行性耳下腺炎**(1.01 0.97：図1)の定点当たり報告数は、前週と同水準にあり、前年までの同時期と比べ多い状況が続いている。保健所別では、秩父保健所を除く県内15保健所管内から報告があり、坂戸(2.17)、幸手(2.00)、草加(1.82)保健所管内からの報告が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.15 2.05：図2)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、川越市(2.00 3.38)、川口(1.47 2.80)、秩父(0.33 2.67)保健所管内で大きく増加し、熊谷(4.44)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、4～7歳で全体の53.7%を占め、4歳の51人が最も多い。**インフルエンザ**(8.28

4.86：図3)の定点当たり報告数は、前週より減少した。保健所別では、全保健所からの報告があり、幸手(6.38)、越谷市(5.85)、東松山(5.63)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**22人の報告があり、流行性角結膜炎は前週(13人)より増加した。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎**1人、**マイコプラズマ肺炎**2人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)**2人、**インフルエンザ(入院)**8人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1人（類型 無症状病原体保有者、血清型 O111）
四類感染症	レジオネラ症	2人（病型 肺炎型 2人）
五類感染症	アメーバ赤痢	1人（病型 腸管アメーバ症）
	急性脳炎	1人（病原体 不明）
	侵襲性肺炎球菌感染症	2人
	梅毒	5人（病型 早期顕症 期 3人、 早期顕症 期 2人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図1 流行性耳下腺炎

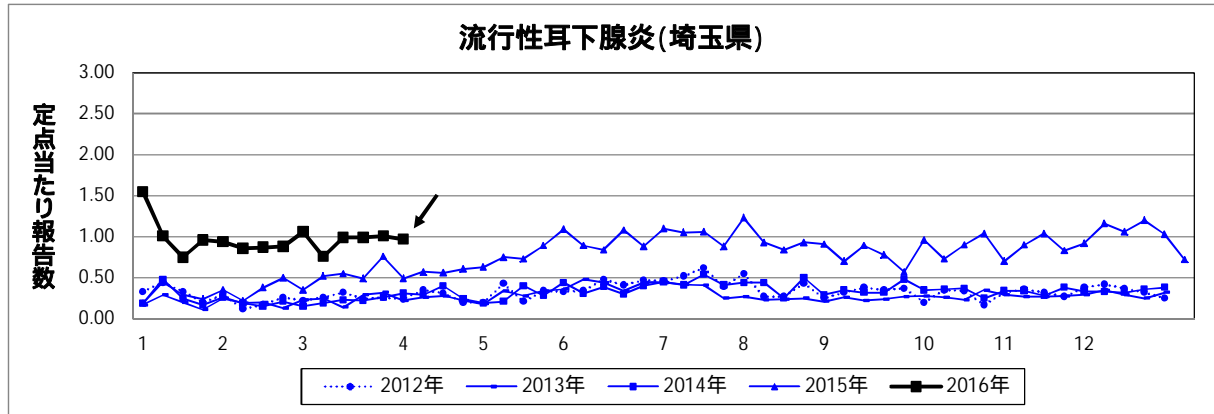


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

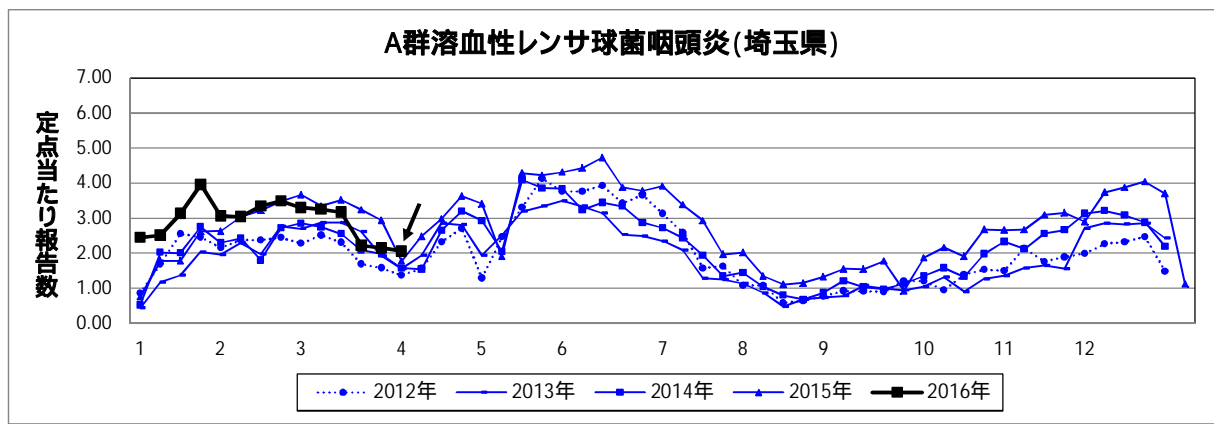
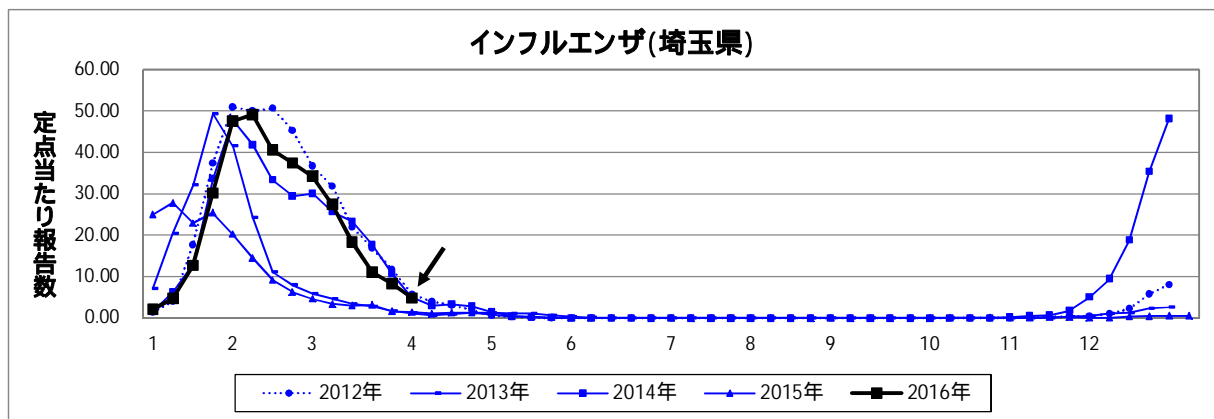


図3 インフルエンザ



インフルエンザウイルス検出状況

加須 (4人)、草加 (3人)、春日部 (2人)、幸手 (2人)、鴻巣 (1人)、狭山(1人)、川越市(1人)保健所管内で採取された検体から、今週新たに AH1pdm09 が 8 件、B 型が 6 件検出された。9 月(36 週)以降の検出は、AH1pdm09 が 124 件、A 香港が 12 件、B 型が 79 件の計 215 件となった。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2015年36週から		年齢階級							計	
		0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69		70歳以上
AH1pdm09	今週検出分	4	1			2	1			8
	累積	77	7	1	11	12	6	6	4	124
AH3(A香港)	今週検出分								1	-
	累積	6	5	-	-	-	-	-	1	12
B型	今週検出分	2	1				1	2		6
	累積	38	22	4	4	3	2	3	3	79

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第14週)

(2016年4月12日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	7			
四類感染症					
E型肝炎		8	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	17
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	14	侵襲性肺炎球菌感染症	2	35
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	水痘*		2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		7	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	19	梅毒	5	33
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		10	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	麻しん		1
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	1	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査週情報										報告患者数				保健所別				平成28年4月4日～平成28年4月10日			
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎 (口ウイルス)	インフルエンザ (入院)	
全	1206	9	30	322	697	90	4	32	74	2	2	152	1	22	-	1	2	-	-	2	8	
川	486	0.06	0.19	2.05	4.44	0.57	0.03	0.20	0.47	0.01	0.01	0.97	0.02	0.54	-	0.10	0.20	-	-	0.20	0.80	
朝	133	-	5	42	115	2	-	4	7	-	-	11	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
朝	5.54	-	0.33	2.80	7.67	0.13	-	0.27	0.47	-	-	0.73	-	0.20	*	*	*	*	*	*	*	
朝	88	1	1	19	66	16	-	4	14	-	1	8	-	2	-	-	-	-	-	-	1	
朝	4.63	0.08	0.08	1.58	5.50	1.33	-	0.33	1.17	-	0.08	0.67	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	
鴻	105	-	6	23	30	4	-	1	4	-	-	14	1	2	*	*	*	*	*	*	*	
鴻	5.53	-	0.50	1.92	2.50	0.33	-	0.08	0.33	-	-	1.17	0.33	0.67	*	*	*	*	*	*	*	
東	45	-	-	10	31	6	2	2	4	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
東	5.63	-	-	2.00	6.20	1.20	0.40	0.40	0.80	-	-	1.40	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
秩	15	-	-	8	2	1	-	-	1	-	1	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1	
秩	3.00	-	-	2.67	0.67	0.33	-	-	0.33	-	0.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00	
本	32	-	-	-	4	2	-	2	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
本	4.57	-	-	-	1.00	0.50	-	0.50	0.25	-	-	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
熊	64	1	4	40	63	6	-	1	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
熊	4.57	0.11	0.44	4.44	7.00	0.67	-	0.11	-	-	-	0.33	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	
加	48	-	-	3	2	1	-	3	4	-	-	5	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
加	4.80	-	-	0.50	0.33	0.17	-	0.50	0.67	-	-	0.83	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
春	28	-	-	7	22	7	-	1	3	-	-	5	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
春	3.11	-	-	1.40	4.40	1.40	-	0.20	0.60	-	-	1.00	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	
幸	83	3	1	12	16	5	1	-	1	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
幸	6.38	0.33	0.11	1.33	1.78	0.56	0.11	-	0.11	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
坂	35	-	-	6	27	4	-	-	1	-	-	13	-	2	-	-	-	-	-	-	3	
坂	3.50	-	-	1.00	4.50	0.67	-	-	0.17	-	-	2.17	-	2.00	-	-	-	-	-	-	3.00	
草	88	1	2	29	53	1	-	4	3	2	-	20	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
草	5.18	0.09	0.18	2.64	4.82	0.09	-	0.36	0.27	0.18	-	1.82	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭	119	1	7	26	57	9	1	5	12	-	-	12	-	1	-	-	1	-	-	1	1	
狭	4.58	0.06	0.41	1.53	3.35	0.53	0.06	0.29	0.71	-	-	0.71	-	0.20	-	-	1.00	-	-	1.00	1.00	
川	47	-	-	27	36	7	-	1	5	-	-	1	-	2	*	*	*	*	*	*	*	
川	3.62	-	-	3.38	4.50	0.88	-	0.13	0.63	-	-	0.13	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	
越	76	-	3	21	17	4	-	-	2	-	-	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
越	5.85	-	0.38	2.63	2.13	0.50	-	-	0.25	-	-	0.75	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	
さい	200	2	1	49	156	15	-	4	12	-	-	28	-	6	-	-	1	-	-	-	3	
さい	4.88	0.07	0.04	1.81	5.78	0.56	-	0.15	0.44	-	-	1.04	-	0.75	-	-	1.00	-	-	-	3.00	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く
4月 12日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第14週 平成28年4月4日～平成28年4月10日)

	合計																					
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
インフルエンザ #1	1,206	3	17	63	53	83	93	74	74	61	36	28	116	59	72	104	109	75	52	21	13	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
RSウイルス感染症	9	4	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	30	-	5	6	4	3	3	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	322	-	1	12	14	28	51	43	41	38	31	25	21	3	14	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	697	4	51	82	89	77	73	56	32	40	30	30	54	12	67	-	-	-	-	-	-	
水痘	90	-	2	6	3	10	9	10	14	13	11	4	7	1	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病	4	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	32	-	1	-	3	4	7	6	3	4	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	74	-	26	39	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	152	-	-	3	5	8	22	22	14	22	18	17	16	3	2	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
流行性角結膜炎	22	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	6	3	3	2	1	1	2	-	
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(入院)インフルエンザ	8	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 12 週

(3月21日～3月27日)

平成28年4月13日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(24.28)、北海道(21.53)、岩手県(20.69)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は549例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(23例)、1～9歳(173例)、10代(47例)、20代(6例)、30代(14例)、40代(13例)、50代(22例)、60代(55例)、70代(74例)、80歳以上(122例)であった。

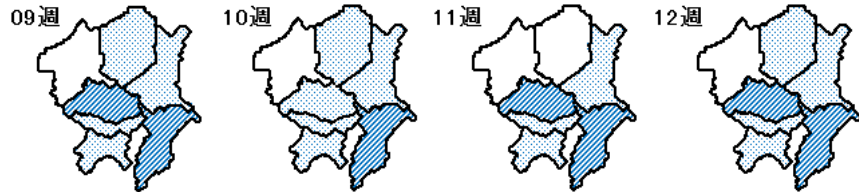
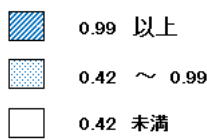
RSウイルス感染症の報告数は624例と第2週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.74)、香川県(0.71)、徳島県(0.57)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(6.53)、山形県(3.70)、北海道(3.63)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(11.03)、宮崎県(9.47)、島根県(9.17)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.76)、埼玉県(0.58)、鹿児島県(0.58)、福井県(0.50)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は島根県(0.30)、鳥取県(0.11)、広島県(0.08)、愛媛県(0.08)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(1.17)、秋田県(1.00)、石川県(0.93)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(2.93)、宮崎県(2.58)、石川県(2.10)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は石川県(1.20)、富山県(1.00)、岐阜県(1.00)、大阪府(1.00)、沖縄県(1.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で減少した。38都道府県から260例報告があり、年齢別では0歳(24例)、1～4歳(166例)、5～9歳(54例)、10代(12例)、20代(1例)、50代(1例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、千葉県(1.16)、埼玉県(0.99)からの報告が多い。

流行性耳下腺炎



平成28年 12週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	68,369	14,601	1,280	712	918	2,802	2,451	3,848	2,590
	定点当たり	13.81	9.69	10.67	9.37	9.77	11.08	11.45	9.34	7.66
RSウイルス感染症	報告数	624	56	2	-	1	9	5	25	14
	定点当たり	0.20	0.06	0.03	-	0.02	0.06	0.04	0.10	0.07
咽頭結膜熱	報告数	674	112	10	5	5	27	11	31	23
	定点当たり	0.21	0.12	0.13	0.10	0.09	0.17	0.08	0.12	0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,326	1,922	129	47	137	355	350	589	315
	定点当たり	2.00	2.03	1.72	0.98	2.40	2.22	2.59	2.27	1.48
感染性胃腸炎	報告数	15,396	4,106	365	88	214	643	574	1,303	919
	定点当たり	4.88	4.34	4.87	1.83	3.75	4.02	4.25	5.03	4.31
水痘	報告数	1,013	361	24	12	19	92	48	83	83
	定点当たり	0.32	0.38	0.32	0.25	0.33	0.58	0.36	0.32	0.39
手足口病	報告数	78	36	3	1	-	4	1	18	9
	定点当たり	0.02	0.04	0.04	0.02	-	0.03	0.01	0.07	0.04
伝染性紅斑	報告数	908	154	10	17	18	33	30	35	11
	定点当たり	0.29	0.16	0.13	0.35	0.32	0.21	0.22	0.14	0.05
突発性発しん	報告数	1,080	340	25	23	17	57	33	90	95
	定点当たり	0.34	0.36	0.33	0.48	0.30	0.36	0.24	0.35	0.45
百日咳	報告数	20	4	1	-	-	1	1	-	1
	定点当たり	0.01	0.00	0.01	-	-	0.01	0.01	-	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	45	12	1	-	-	5	1	4	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	-	0.03	0.01	0.02	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2,532	648	55	34	9	159	157	109	125
	定点当たり	0.80	0.68	0.73	0.71	0.16	0.99	1.16	0.42	0.59
急性出血性結膜炎	報告数	6	4	-	-	-	1	1	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.02	0.03	0.05	-
流行性角結膜炎	報告数	319	109	7	7	4	24	18	14	35
	定点当たり	0.47	0.54	0.41	0.58	0.29	0.59	0.55	0.36	0.74
細菌性髄膜炎 #2	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	5	-	-	-	-	3	-	2
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	-	0.33	-	0.22
マイコプラズマ肺炎	報告数	165	22	2	4	2	5	1	5	3
	定点当たり	0.35	0.27	0.15	0.57	0.25	0.50	0.11	0.20	0.33
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	260	11	1	-	-	3	-	5	2
	定点当たり	0.55	0.14	0.08	-	-	0.30	-	0.20	0.22

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターの持つ病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

インドネシア渡航歴のある方から赤痢菌が検出されました。A型肝炎の2検体からA型肝炎ウイルス遺伝子型 A と A が検出されました。A はフィリピンとスリランカ、A はインドへの渡航歴が確認されています。

ウイルス分離状況

四類感染症 平成28年4月7日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		1月	2月	3月	累計
E型肝炎	検体数	4			4
	E型肝炎 検査中	3			3
A型肝炎	検体数			2	2
	A型肝炎 検査中			2	2
重症熱性血小板減少症候群	検体数				
	SFTS 検査中				
ジカウイルス感染症	検体数			4	4
	ジカウイルス 検査中				
デング熱	検体数	1		2	3
	デング ヒトバルボ B19 検査中	1		2	3

五類感染症 平成28年4月7日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		1月	2月	3月	累計
咽頭結膜熱	検体数	3	1		4
	アデノ 1				
	アデノ 2				
	アデノ 3	1			1
	アデノ 4				
インフルエンザ	検査中		1		1
	検体数	83	76	33	192
	インフルエンザ AH3	6	2	1	9
	インフルエンザ B	24	23	19	66
	インフルエンザ AH1pdm09	50	46	13	109
	アデノ 2		1		1
	アデノ 3	1			1
	ヒトヘルペス 7	1			1
	EB		1		1
	検査中		2	1	3
感染性胃腸炎	検体数	8	4	5	17
	ノロ	4	1		5
	サボ			1	1
	アストロ		1		1
	ロタ (A)	1	1		2
	アデノ 40/41	1			1
	ライノ	1			1
	検査中			3	3
ヘルパンギーナ	検体数			1	1
	コクサッキー A2				
	コクサッキー A6				
	コクサッキー A8				
	コクサッキー A9				
	コクサッキー A10				
	ライノ				
	検査中			1	1
手足口病	検体数	1			1
	コクサッキー A6	1			1
	コクサッキー A9				
	コクサッキー A14				
	コクサッキー A16				
検査中					
脳炎・脳症 (四類以外)	検体数	2	2	10	14
	ヒトヘルペス 6			1	1
	ヒトヘルペス 7				
	インフルエンザ B			2	2
	インフルエンザ AH1pdm09		2		2
検査中			6	6	
麻疹	検体数		1	3	4
	麻疹				
	ヒトバルボ B19		1		1
	インフルエンザ B			1	1
検査中					

五類感染症つづき

臨床診断名	ウイルス	検出月				累計
		1月	2月	3月		
風しん	検体数					
	風しん 検査中					
先天性風しん症候群	検体数					
	風しん 検査中					
無菌性髄膜炎	検体数		12		13	
	コクサッキー B2		2		2	
	エンテロ nt		1		1	
流行性角結膜炎	検査中					
	検体数					
流行性耳下腺炎	アデノ					
	検体数		1		1	
その他	検体数		46	37	48	131
	エコー 3		2			2
	エコー 6					
	エコー 7					
	エコー 9					
	エコー 18					
	エコー 25					
	エンテロ 68					
	パレコ		1			1
	アデノ 1			1		1
	アデノ 2		2	1	1	4
	アデノ 3					
	アデノ 11		1			1
	アデノ 54					
	単純ヘルペス 1			3	1	4
	ヒトヘルペス 6		3	2	1	6
	ヒトヘルペス 7		3	1		4
	水痘帯状疱疹					
	インフルエンザ AH3			2	1	3
インフルエンザ B				1	1	
インフルエンザ AH1pdm09		1	2	1	4	
パラインフルエンザ 1				1	1	
RS		5		1	6	
ヒトメタニューモ			5	7	12	
ライノ		6	6	9	21	
サイトメガロ		3	1		4	
コロナ		1	1	1	3	
ポカ				1	1	
ヒトバルボ B19		1	2		3	
EB		3	1		4	
検査中				19	19	

nt : not typed

細菌分離状況

平成28年4月7日現在

病原体名	分離月	平成28年4月7日現在			備考 (3月分)
		1月	2月	3月	
赤痢菌	1月		1	1	S. sonnei :1(インドネシア)
	2月	1			
	3月				
腸管出血性大腸菌 O157	1月		1	2	H - (VT1&2): 1 H7 (VT2): 1
	2月	1	1	1	O111:H - (VT1): 1
腸管出血性大腸菌その他	1月	1			
レジオネラ菌	1月	1			
肺炎球菌	1月		1		
溶血性レンサ球菌	1月	1	2		
その他	1月			1	Salmonella spp.: 1(感染性胃腸炎)

今冬のインフルエンザ

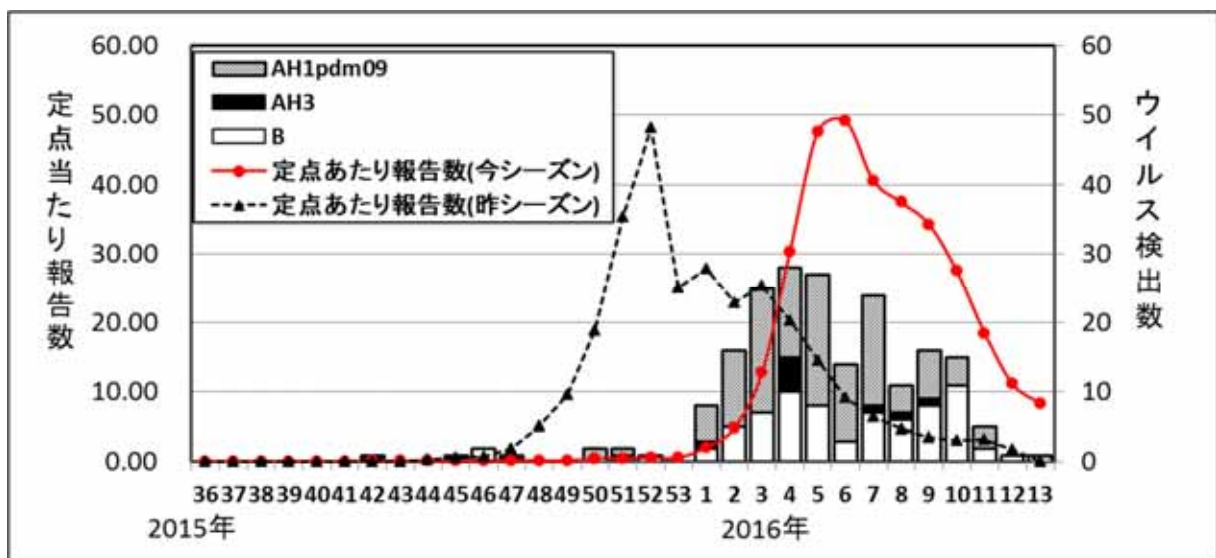
(1) 定点当たり報告数の推移

今シーズンのインフルエンザは、昨シーズンより 1 か月半ほど遅く本格的な流行を迎えました。定点当たり報告数は 2016 年第 3 週から急上昇し、第 6 週に 49.13 に達してピークとなりました（下図参照）。第 7 週以降は報告数が減少し、第 13 週には 8.28 となり、今シーズンの流行は終息に向かいつつある状況です。

(2) ウイルス検出状況

2015 年第 36 週から 2016 年第 13 週までに、埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターで検出されたウイルスは、AH1pdm09 が 116 件、A 香港型（AH3）が 12 件、B 型が 73 件です。今シーズンは、昨シーズンとは大きく異なり、検出ウイルスは AH1pdm09 が最も多く、次いで B 型、AH3 という状況です（下図）。昨シーズンの流行の主体であった AH3 の検出数は少なく、これは全国的にも同様の傾向です。

図 インフルエンザウイルス検出状況及び定点当たり報告数（埼玉県 2015 年第 36 週～2016 年第 13 週）



(3) 抗インフルエンザ薬耐性ウイルスについて

国立感染症研究所において、2016 年 4 月 1 日までに全国で分離されたウイルスのうち、AH1pdm09 の 1560 株、AH3 の 66 株、及び B 型の 123 株について、オセルタミビル、ペラミビル、ザナミビル及びラニナミビル（AH1pdm09 のザナミビル及びラニナミビルは 152 株）に対する耐性の有無を調べたところ、AH1pdm09 の 27 株（1.7%）にオセルタミビル及びペラミビルに耐性を示すウイルスが検出されました。このうち 16 株（1%）は、抗インフルエンザ薬投与例からの検出でした。

インフルエンザに関する最新の全国情報は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページ（<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>）でご覧になれます。

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第14週

感染症発生動向調査 2016年

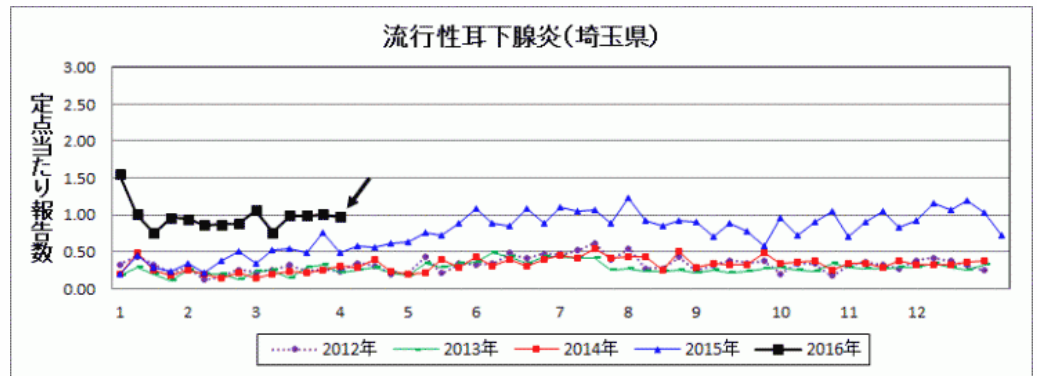
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)

感染症の流行状況 2016年 第14週

2016年第14週（平成28年4月4日～4月10日）の要点 平成28年4月13日

[流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）](#)の定点当たり報告数は、前年までの同時期と比較し、多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★	伝染性紅斑	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	→	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン